

事業計画書

事業名	街中だがしや楽校 2019inぬまづ
場所	沼津市仲見世商店街・新仲見世商店街地内
実施予定期間	平成30年 7月15日 ~ 平成31年 3月31日
日程	実施項目・作業項目
	<p>※ イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。</p> <p>●<u>前回は踏まえての今回の試み</u></p> <p>まだ第2回目の事業を終えていないが、第2回目では子ども達に将来なりたい職業アンケートをお仕事として調査してもらい、次回の事業でアンケート結果を反映させたお仕事を増やすことを考えている。また、より多くの子ども達にお仕事体験ができる環境をつくるため、参加店舗数を増やし、事業内容の充実をはかる。</p> <p>●<u>事業内容</u></p> <p>「お手伝い(体験)～お駄賃(報酬)～駄菓子屋での購入」という、かつてあった駄菓子屋を取り巻く環境を再現する。</p> <p>◎<u>キッズハローワーク 3カ所設置</u></p> <p>仲見世・新仲見世商店街の実店舗、外部出店ブース、なかみせステージなどに応募する仕事を記載した求人票を掲示で仕事を探す。子ども達が仕事を選ぶ。</p> <p>◎<u>仲見世、新仲見世商店街の実店舗、外部出店ブースでのお仕事体験</u></p> <p>15～20分を1クールとしてお仕事体験。仕事内容は店舗によって異なり、掃除、呼び込み、P0づくり、接客などを行う。仕事完了時にはお店の人からお駄賃(報酬)として仮想通貨「ぬまづダラ」をもらう。</p> <p>◎<u>ワークショップ</u></p> <p>出展者の指導を受けながらものづくりやアート、スポーツなどの体験をする。終了時に「ぬまづダラ」をもらう。</p> <p>◎<u>なかみせステージ</u></p> <p>音楽や子どもフェンシング、剣道、よさこいなどを上演。ステージまわりのお仕事(司会や拍手係)を体験することで「ぬまづダラ」をもらう。</p> <p>◎<u>だがしやマーケット</u></p> <p>新仲見世種店街の空き店舗を活用して、1日だけの子どものための駄菓子屋をオープン。お仕事や体験をしてもらったお駄賃「ぬまづダラ」で駄菓子を購入する。</p> <p>◎<u>「働く車」コーナー</u></p> <p>消防車や工事現場の重機など、普段子供ども達が触れることができない車等を展示し、実際に乗ったり、触ったり、そこで働いている人とふれあってもらう。</p> <p>●<u>実施場所</u></p> <p>沼津仲見世商店街・新仲見世商店街・商店街の空き店舗、仲見世商店街コミナード</p> <p>●<u>参加対象</u></p> <p>沼津市および近隣市町の未就学児～小学生 沼津市・三島市・清水町・長泉町の各教育委員会の後援を頂き、各小学校にチラシを配布する。</p> <p>●<u>人員配置(当日スタッフ)・当日役割分担</u></p> <p>本部4人、既存店出店・外部出店・ワークショップ担当8名、警備5名(外部)、駐車場係2人、ボランティア担当1人(専門学校ボランティアスタッフ約25名)、記録係1名、キッズハローワーク担当9人、ステージ担当2人、だがしやマーケット担当7人、救護1名、</p> <p>●<u>開催までのスケジュール</u></p> <p>2018年8月～2019年3月 実行委員会・役員ミーティング開催(各月1回ずつ開催) 8月25日・26日 三島のだがしや楽校 前日準備・当日お手伝い 9月10月 後援依頼、協賛金、出店、ワークショップ等募集、各担当打ち合わせ 11月12月 ポスター・チラシ作成。広報ぬまづ掲載依頼。商店街との会合 2019年1月2月 チラシ全校配布(1月頃)、当日用チラシ作成、最終調整 3月2・3日 前日準備会場設営、開催</p>

事業効果	<p>※ 事業の効果を記載してください。</p> <p>ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回開催において約3000人の来場があった。受け入れ態勢を整備することで参加人数の増加が見込まれ、商店街が新たな客層を獲得する契機とし、中心市街地の今後の活性化に結び付けられる。 ・ 実店舗で行なうことでプロの現場を体験し、子ども達が将来の仕事に対する意識付けをすることができる。 ・ 商店街各店舗の協力が欠かせず、また学生ボランティアや各種団体との協働をすることで地域内の連携につながる。
------	---

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載してください。</p> <p>子ども達に商品の価値や働くことの意義、楽しさを、大変さを実感してもらい、子ども達の創造性や生きる力を育む。</p>
発展性	<p>※他の住民や地域との連携や、どのような波及効果が見込めるのか記載してください。</p> <p>第1回開催の成功により、商店街店舗から良い評価をされ、協力店舗の増加が見込まれる。また、各店で仕事内容をさらに精査し、より充実した体験を提供していく。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載してください。</p> <p>地元の高校生・専門学校の生徒、地域で活動している子育てママの団体、三嶋の다가しや楽校運営協議会等と連携をはかり事業を行う。</p> <p>地域資源である沼津垣、戸田塩、地域人財であるスポーツや芸能、まちの識者等を活用したワークショップを行う。</p> <p>中心市街地の商店街で子どもたちにお仕事体験をしてもらうことによって、商店街組合の方々との連携が図られ、地域の大人が子どもを育てる環境がうまれる。</p> <p>また、三嶋の다가しや楽校と連携することにより、広域的な事業を展開していく。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、財政的に支援を要する理由について記載してください。</p> <p>前回の助成金をいただき、横断幕やスタッフジャンパーなど継続していくために必要な備品をある程度そろえることができた。今後、さらに事業を拡大するために備品等の更なる充実が必要。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載してください。</p> <p>これまで外部団体が商店街を利用して行うイベントでは、ややもすれば商店街は場所貸しにとどまっていたが、本事業においては各店舗が子どもの活動の場となり、店舗がより積極的、主体的に関わっていくことが求められる。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後に、どのように継続的・自立的な活動に取り組んでいくのかについて記載してください。</p> <p>実績を重ねることで支援者を募り、自立的な運営ができるようにしていく。</p>